

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 12 月 1 日

事業所名 コベルプラス野々市教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0		
	②	職員の配置数は適切である	1	2		児童数が増えてきたこともあり、もう 1 名いると教室の入れ替え・見送りなどの対応に余裕をもって対応ができる。 配置数は適正ですが、人員を増やして円滑な運営を目指します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	各部屋に名前があり、イラストでわかりやすくしています。 気が散らないよう棚に目隠しをして配慮しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	毎日の掃除、教材の消毒、活動に合わせて環境整備を行っています。	今後も清掃・消毒を徹底し、清潔な環境を作っていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	療育は毎日振り返りを行い、次回の療育に活かせるように話し合っています。 運営については週に 1 回ミーティングを行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	保護者の方のご意向を伺い、柔軟な対応ができるよう努めています。	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	ホームページへの掲載、事業所内にて掲示をいたします。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	互いの療育を見て学んでいます。 毎日療育の振り返りを共有しています。 年に1度本部の研修担当に療育の様子のフィードバックを頂いています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	アセスメントを丁寧に行い、児童に合った課題分析をしています。児童の事態把握・保護者へのヒアリングを行い、ニーズを伺い計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	アセスメントプログラムを作成し、標準化されたツールを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	本人支援を中心に目標を設定しています。家庭や園での様子を伺いながら日々の生活に活かすような療育を行っています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	児童発達支援計画に沿った個別支援課題を意識し行っています。	

					スタッフ間で情報共有し、計画に沿った支援が行えるよう話し合いを行っています。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0		必ずスタッフ間で共有しています。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0		教材を月毎・週毎で替えたプログラムを組んでいます。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	0		個別療育が基本ですが、必要に応じて集団療育の活動にも参加してもらっています。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0		朝礼時に当日の確認、集団レッスン前にはプログラムについてスタッフ間で確認しています。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0		毎日振り返りを行い、次回の療育に活かせるよう支援内容を共有しています。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0		サービス提供記録と合わせて HUG ソフトを用いて当日の様子や課題を記録に残しています。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0		定期的にモニタリングを行い子どもの状況を把握し検討しています。保護者に情報共有をし、支援計画と一緒に見直しして新しい個別支援計画を作成しています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	相談支援員と電話や対面で情報を共有し連携しています。	福祉施設以外の他機関との連携は課題と認識しています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2		医療的ケア児の在籍がないため非該当
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2		医療的ケア児の在籍がないため非該当
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2		移行支援の実績はありませんが、必要に応じて情報共有と相互理解を進めていきます。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2		移行支援の実績はありませんが、必要に応じて保護者同意のもとで情報共有と相互理解を進めていきます。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	関係機関との連携には勤めていますが、助言や研修は受けていない状況です。コベルプラス本部からの助言や研修は受けています。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2		他機関との交流や連携は課題と認識しています。

	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2		他機関との交流や連携は課題と認識しています。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	毎回の療育後にお子さんについて振り返る時間を設けています。その際に家	

				庭や園での状況も伺い、課題について共通理解を持ち、療育について話し合っています。		
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	3	療育後に指導員と保護者で話し合う時間を設けています。その際に対応方法のご提案も必要に応じてお伝えしています。	ペアトレについては今後実施できるよう準備してまいります。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	1	契約の際に、運営規程、利用者負担等について説明を行っています。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	1	児童発達支援ガイドラインに基づき個別支援計画を作成し、保護者に同意を頂いています。	
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	療育後に当日担当したスタッフと話す機会を設けています。	必要に応じて個別相談支援を行っています。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3		利用者が増え、ニーズも変わってきたと思うので今後実施できるよう準備してまいります。
	㉕	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	その都度丁寧に対応させていただいています。	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	定期的に SNS にて事業所の様子などを発信しています。行事予定については事前に周知をしています。	
	㉗	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	個人情報について確認し、個人情報	

					利用同意書に同意していただき管理しています。個人情報書類、名前の書かれたものは鍵付き書庫に保管し、適宜施錠しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	子どもの特性に合わせた関わりで意思疎通を図り、情報伝達の方法を考慮しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3		地域交流は課題と認識しています。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0		
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	年に2回、避難訓練等行っています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	1	2	アセスメント時に保護者様にお話を伺っています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	食べ物の提供はしていません。	アレルギーはアセスメントの際に確認し、小麦粘土などの教材を取り扱う際は、配慮していきます。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	事業所内、系列教室間にて共有しています。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	虐待防止委員会を毎月開催しています。県や市が主催する虐待防止研修に参加をしています。	

④7	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	2	1	<p>緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書を作成し、契約時に丁寧に説明をしたうえで、保護者より同意を頂いています。</p>	<p>やむを得ず身体拘束を行う場合が必要な場合は、手続きを行い、個別支援計画に記載します。</p>
----	---	---	---	--	---

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。